

こどもえがおプラン～出雲市こども計画～

わかりやすい版

こどもえがおプランって？

けいかくきかん 計画期間
れいわ 令和7年度～令和11年度
ねんど (2025) ねんど (2029)

「こどもえがおプラン」は、出雲市のすべてのこども一人ひとりが、すくすくと大きくなり、ずっと幸せに生活できる社会「こどもたち一人ひとりが主人公」のまちをめざして作る、こどもに関する計画です。

そのために、こどものみなさんを中心として、子育てをする人や学校に関係する人、地域の人など、みんなで一緒になって、こどもたちや、子育てをしている人を支える取組「こども施策」をすすめていく必要があります。

「こどもえがおプラン」は、これからどのような「こども施策」をどのように行うかをまとめています。



「こども施策」 って？

- つぎ 次のような、こどもに関する取組などをいいます。
- おとなになるまでの心や身体の成長をサポートすること
例えば… 居場所づくり、いじめ対策 など
 - 子育てをする人々へのサポートをすること
例えば… 働きながら子育てしやすい環境づくり

「こども」って 何歳まで？

こどもえがおプランでの「こども」は、
「こども基本法」と同じく、「心と身体
の成長の段階にある人」とし、18歳や
20歳といった年齢で区切りません。

とくちよう こどもえがおプランの特徴

1

こどもに関する内容を
ひとまとめにした計画です。
例えば・・・

- 希望どおりの結婚や子育てができるよう
にするための計画
- 若者に関する計画
- こどもが健やかに笑顔で成長するため
の計画
- こどもの貧しい暮らしを無くしていく
ための計画 など

こどもに関わる幅広い
計画なんだね。



何歳の時だろう？



2

みなさんにアン
ケートをして、こども
の意見を取り入れて
います。

私たちの意見が、
計画につながって
いるんだね。



4

計画の期間は、令和7年度(2025)
から令和11年度(2029)までの
5年間です。

5年をかけて、こどもや子育てを
する人が、今よりも幸せな生活を送る
ことができる出雲市にしていきます。

3

わかもの たいしょう
若者も対象に
した計画です。

おとな
大人になっても
たいしょう
対象なんだね。



5

計画がうまく進んで
いるか確認するため、目標
を決めて、チェックして
いきます。

計画を作るだけ
じゃなくて
チェックもして
いくんだね。



こどもえがおプランができるまで



「こども基本法」

ができる

すべてのこどもが、ずっと幸せな生活
ができる社会をつくるため、社会全体
で「こども施策」を進めていくことを
目的として、令和5年(2023)4月に
つくられた法律です。

こどもの法律が
できたんだね



こども基本法についてはこちら
(こども家庭庁こども基本法ページ)

<https://www.cfa.go.jp/policies/kodomo-kihon/>

「こども大綱」

ができる

こども基本法をもとに、すべての
こどもが身体的・精神的・社会的
に幸せな生活を送ることができる
社会、「こどもまんなか社会」をめざ
すための基本的な考え方や、重要
なことについて決めたものです。



こども大綱についてはこちら
(こども家庭庁こども大綱ページ)

<https://www.cfa.go.jp/policies/kodomo-taikou/>

「こどもえがおプラン」

をつくる

「こども基本法」のなかで、市や町は、
国の「こども大綱」などをもとに「市町村
こども計画」をつくることとされました。
出雲市が作る計画が、「こどもえがお
プラン」です。

僕たち・私たちが、
まんなかなんだね



きほんりねん
基本理念(めざすまちの姿)

けいかく 計画では、「基本理念」として出雲市がめざすまちの姿を決めました。

ひとり しゅじんこう
こどもたち一人ひとりが主人公

だれ ひか いずもりよく
～誰もがみんな キラリ☆と光る 出雲力～

だれ ひとり 無限の可能性を持った、キラリと光る、出雲の力「出雲力」です。
ひとり ゆめ きぼう も じぶん えがお しゅじんこう
こども一人ひとりが、夢と希望を持てる、自分らしく笑顔でいられる、主人公となるまちをめざします。

いずもりよく
出雲力

いずもりよく
「出雲力」って？

いずも も ちから けっしゅう
「出雲」の持つあらゆる力を結集
いずも かんけい
したものであり、「出雲」に関する
ひと も ちから
すべての人の持つ力のことです。

4つの基本方針(目標)

めざすまちの姿を実現するために、
4つの基本方針(目標)を決めて、
いろいろなことに取り組みます。

2 ライフステージに応じた
切れ目のない子育て支援
サポート

成長するいろいろな時期において切れ目なく
支援し、子どもと子育てをする人を支えます。

3 全ての子どもが健やかに
成長できるまちづくり
生育環境

子どもが暮らすうえで
困らない環境を整えて、
全ての子どもが、幸せで、
健やかに成長できるよ
うにします。

子どもたち
一人ひとりが主人公

4 社会環境
子ども・子育てに
やさしいまちづくり

若い世代の視点に立って、
いろいろな価値観を大切に
し、子育てに希望を持てる
ようにします。

また、いろいろな団体と
協力して取組を進めます。

1 子どもの権利が保障され、
子どもが意見を言えるまちづくり
ベース

子どもの権利を大切にして、子どもに関す
ることを決め、行う時は、「その子どもにとって
最も良いことは何か」を第一に考えます。

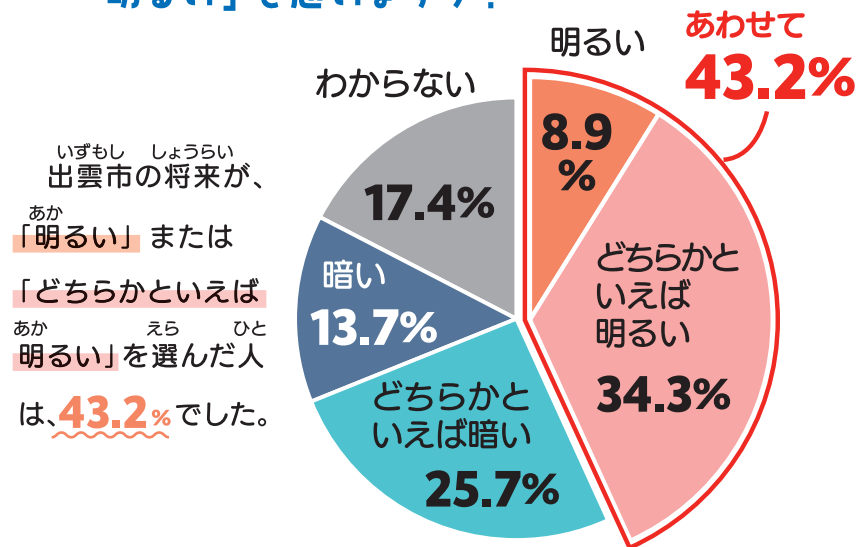
また、子どもや子育てをする人の意見を聴き、
話し合いながら取組を進めていきます。



いけん みなさんからの意見

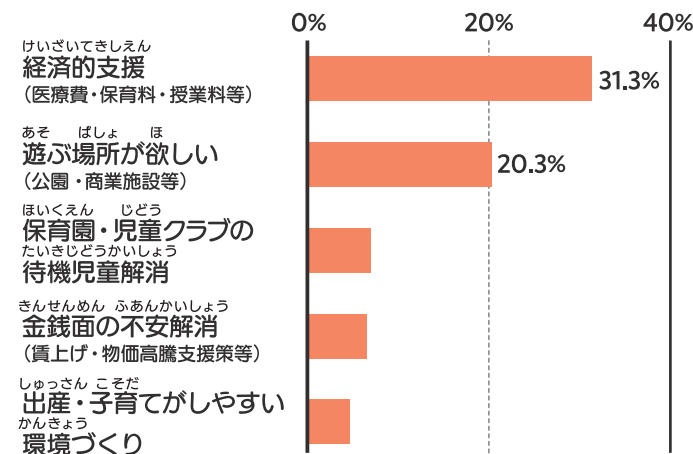
「こどもえがおプラン」をつくるにあたって、アンケート※で、みなさんからの意見を聴きました。その一部を紹介します。

Q1 あなたは「出雲市の将来は あか 明るい」と思いますか？



Q2 こどもに関することで いづもし またい 出雲市に期待することは何ですか？

にんしん しゅっさん こそだ かん いけん
妊娠・出産・子育てに関する意見や、こどもが住みたい
まちづくりに関する意見などいろいろな意見がありました。



ねんど こ わかものいしき せいかつじつたい ちょうさ
※令和6年度(2024)「子ども・若者意識・生活実態アンケート調査」

アンケートから分かったこと

いづもし しょうらい あか こた りゅう ばんおお かいとう
出雲市の将来が明るいと答えた理由で1番多かった回答は、
じんこう わかもの おお きぼう も
「人口(こども・若者)が多いから」でした。希望が持てる
いづもし しょうらい だいじ わか せだい ひと ふ
出雲市の将来に大事なものは、若い世代の人が増えることとい
うことがわかります。

わか せだい ひと しょうらい ゆめ きぼう も あん
そのためには、若い世代の人が、将来に夢や希望を持ち、安
しん けっこん う そだ
心して、結婚し、こどもを産み、育てることができるように、
こそだ ひと いっしょ と
こどものみなさんや、子育てをする人と一緒になって、取り
く だいじ
組むことが大事です。

こどもの権利が保障され、こどもが意見を言えるまちづくり

こどもの権利を大切にし、こどもや子育てをする人の意見を聴き、話し合いながら取組を進めていきます。

こどもの権利を学ぶ機会を作ります

- 人権について、学ぶ機会をつくります。
- 虐待からこどもを守るため、児童虐待について、たくさんの人に知ってもらいます。
- ヤングケアラー※について正しく知る機会をつくります。
- 障がいのある人となない人がともに暮らし、ともに学ぶ社会をめざして、障がいへの理解を広げます。

※ヤングケアラー

本当は大人がしているような家事や
家族の世話などをいつもしているこども



ヤングケアラーについてはこちら
(こども家庭庁ヤングケアラー特設サイト)
<https://kodomoshien.cfa.go.jp/young-carer/>

こどものみなさんが 意見を言う機会を作ります

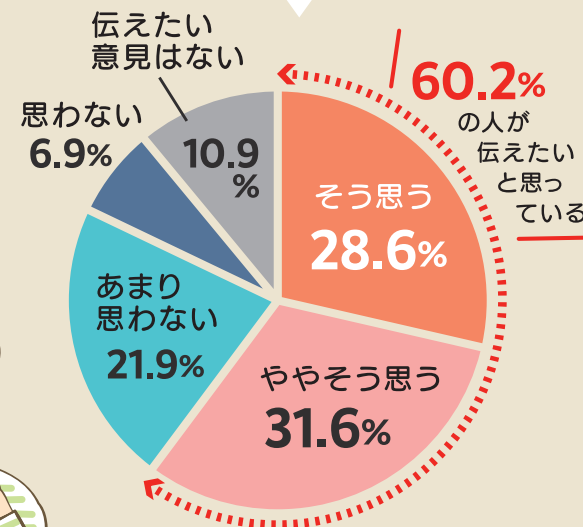
- 市の取組の参考とするために、高校生に向けたアンケートを行います。
- 中学生同士で、出雲市について考える「中学生サミット」を行うことで、自分から社会に関わる気持ちを育てます。
- こどもの意見を反映させるための仕組みづくりを考えます。

はんぶんいじょう ひと いけん
半分以上の人が意見や
おも つた
思いを伝えたいんだね。



Q 出雲市に対して、自分の
意見や思いを伝えたいと
おもいますか？

「そう思う」または「ややそう思う」
を選んだ人は、**60.2%**でした。



ポイント



こどもの意見をまちづくりにいかしていく

こどもも大人と同じように一人ひとり権利があり、声を出す権利があります。

こども基本法では、こども施策を決めるとき、行うとき、評価するときは、こどもや子育てする人の意見を聴いて、まちづくりにいかしていくために、必要な対応をすることとされています。

こどものみなさんは、出雲市の大切な一員であり、「ともに出雲市をつくるパートナー」です。

みなさんの声を聴いて、出雲市をより良くしていくことが出雲市の大事な役目です。

出雲市でもみなさんの意見が大切にいかされる仕組み作りを考えます。

こどもの声を反映させるための流れ

聴いた意見をどうしたのか、
説明します。

みなさんからいただいた意見を、
市の取組にどうか考えます。

【意見反映の方法（例）】

- 関係する部署の人が、どのような意見をこどものみなさんからもらったかきちんと知っておく。
- 計画や取組に反映する。 など

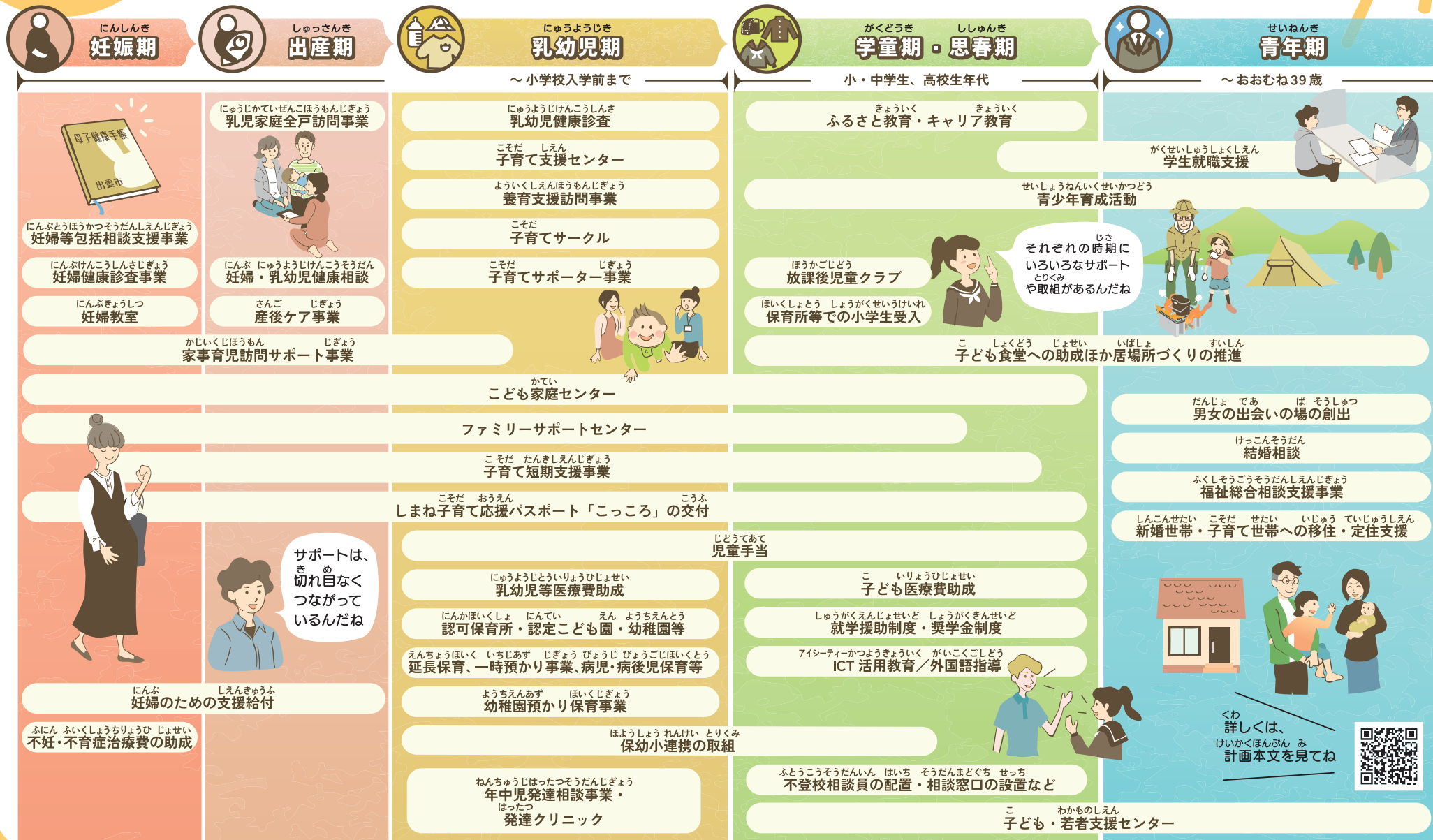


こどものみなさんが
意見を言いやすい工夫をします。



ライフステージに応じた切れ目のない子育て支援

成長するいろいろな時期において切れ目なく支援し、こどもと子育てをする人を支えます。



くわ
詳しくは、
けいかくほんぶん み
計画本文を見てね

すべてのこどもが健やかに成長できるまちづくり

こどもが暮らすうえで困らない環境を整えて、すべてのこどもが、幸せで、健やかに成長できるようにします。

こどもが暮らすうえで 困らない環境を整えます

- 暮らすうえで困らないように、学習支援など、生活のサポートを行います。
- こどもが暴力や傷つく言葉などをつらい思いをしないように、サポートをしていきます。
- ヤングケアラーの気持ちに寄り添った支援をします。

障がいのあるこどもたちを サポートします

- 障がいがあるこどもとその家族が安心して豊かな生活を送ることができるように、相談や支援を行います。
- 医療的なケアが必要なこどもをサポートする体制を整えます。

こどもの健康・体力づくりをすすめます

- 赤ちゃんの頃から基本的な生活習慣づくりの大切さについて知ってもらいます。
- 体を動かす楽しさを味わい、自分の体を大切にすることを育てます。
- バランスのとれた体づくりを進めます。
- 食の知識や食の大切さについて理解してもらいます。



いろいろなこどもがいて、
どんな状況でも、みんなが
幸せに暮らせるように
サポートがあるんだね。

外国にルーツを持つこども※をサポートします

- 幼稚園、保育所などで、通訳などのサポートを行います。
- 日本語のサポートが必要なこどもを支援し、すべてのこどもが、同じように学習できる環境を整えます。

※外国にルーツを持つこども…国籍に関わらず、お父さん・お母さんの両方またはどちらかが外国出身者であるこども

こども・子育てにやさしいまちづくり

わか せだい してん た 若い世代の視点に立って、いろいろな価値観を大切にし、子育てに希望を持てるようにします。
また、いろいろな団体と協力して取組を進めます。

こども 子育てしやすい環境を整えます

- 新しい企業を出雲市に増やすことで、働く場所を増やします。
- 結婚を望む人への支援として、結婚相談やイベントなどを開催します。
- ワーク・ライフ・バランス※について知ってもらい、働きやすい職場にしていきます。
- LINEや子育てアプリなどで、子育て情報を発信して、子育てする人を応援します。
- 地域でのあいさつ運動や防犯パトロールなど、青少年の成長を社会全体で支えます。
- 手続きをオンライン化するなど、デジタルを活用して、便利にしていきます。



こども おや 保護者 子育てする人(親・保護者)をサポートします

- ひとり親家庭の相談にのったり、安定した生活に向けた支援を行ったりします。
- 病院でかかるお金や小学校でかかるお金など、子育てで必要となるお金を手助けします。



こどもたちが安全・安心に生活できるようにします

- 通学路に危険なところがないか点検します。
- 防犯教室やネットトラブル研修など、小・中学校で安全教育を行います。
- 公園や遊具、文化・スポーツ施設を直して、安全に使ってもらいます。

※ワーク・ライフ・バランス

ひとり 一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、家庭や地域などにおいても、いろいろな生き方や生活を選ぶことができること

けいかくほんぶん
計画本文は
こちらから



いづもし けいかく
こどもえがおプラン～出雲市こども計画～

わかりやすい版

いづもし こ みらいぶ こ せいさくか
出雲市子ども未来部子ども政策課

〒693-8530 いづもし いまいちちょう ばんち
出雲市今市町70番地

TEL : 0853-21-6963 FAX : 0853-21-6413

MAIL:kodomo@city.izumo.shimane.jp

